



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 35-16 DAIKANTYO HIGASIKU NAGOYA 460-0002 JAPAN

国際会長主題	「希望の灯となろう」	“Be the Light of Hope”
アジア会長主題	「希望の灯となろう」	“Be the Light of Hope”
西日本区理事主題	「思いやりを持ってワイズライフを！」	“Enjoy Y's life with Consideration !”
中部部長主題	「楽しくワイズ、スクラム組んで」	
クラブ会長主題	「YMCAリーダーと共に」	

2009年4月号

———＜今月の聖句＞———

わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。

ヨハネの手紙一 4章16節

グランパスホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/>

2009年4月例会ご案内

◎第一例会

と き : 4月11日(土) 10:30現地集合

ところ : 河和北方

ドライバー: 坂口君

恒例 潮 干 狩 り

場所は知多半島河和北方。とつかヨットスクール横の浜です。汐見表によればこの日この時間がかもとも汐が引く時間です。これを逃せば次がありません。ご家族、ご友人、その他たくさんのご参加をお願いします。

詳細は別途お知らせします。

◎第二例会

と き : 4月24日(金) 19:00～

ところ : 名古屋YMCA

◎根の上まつり

と き : 4月29日(水)

ところ : 根の上キャンプ場

詳細は別途お知らせします。

◎5月の行事予定

○タケノコ狩り

○リーダー交流会

○DBC交流会

3月例会	例 会 出 席 状 況				B F ポイント		クラブファンド (3月)	
	在 席 者	15 名	第 1 例 会	9 名	当 月 ・ 切 手		ニコ BOX ノート	
	例会出席者	9 名	第 2 例 会	7 名	当 月 ・ 現 金		感 謝 ファンド	
	当月出席率	60 %	部 会 他	名	累 計		累 計	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

＝強い義務感を持とう。義務はすべての権利を伴う＝

第一例会報告



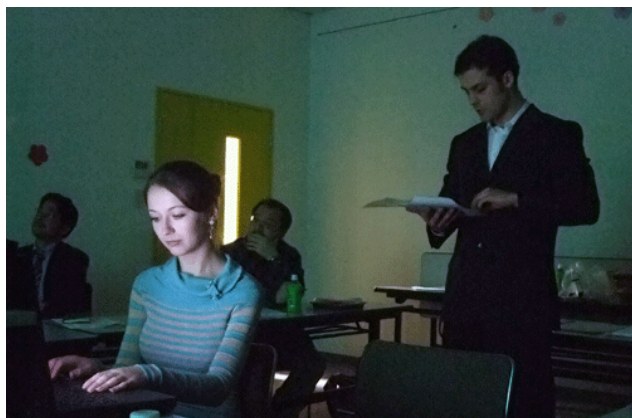
日時: 2009年3月7日(土)PM7:00～

場所: 名古屋 YMCA

出席者: 坂口、坂倉、早川、下村、信田、阿部、荒川
松原、徳田、

3月第一例会報告

皆さんは「ミレニアム開発目標MDGs」をご存知ですか。ご存知ない方が多いと思いますので、例会の報告に先立って、ここから説明を始めたいと思います。



パワーポイントでの日本語の報告でした

ミレニアム開発目標MDGsとは、2000年9月ニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットに参加した147の国家元首を含む189の加盟国は、21世紀の国際社会の目標として国連ミレニアム宣言を採択しました。このミレニアム宣言は、平和と安全、開発と貧困、環境、人権とグッド・ガバナンス（良い統治）、アフリカの特別なニーズなどを課題として掲げ、21世紀の国連の役割に関する明確な方向性を提示しました。そして、国連ミレニアム宣言と1990年代に開催された主要な国際会議やサミットで採択された国

際開発目標を統合し、一つの共通の枠組みとしてまとめられたものがミレニアム開発目標

(Millennium Development Goals: MDGs) です。

<http://www.undp.or.jp/aboutundp/mdg/>

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/pr/wakaru/topics/vol13/index.html>をご参照ください)

さて、今回の卓話は、この国連のミレニアム開発に参加され現在は名古屋大学で経済学を専攻されているフィリップアラジオさんに、この「ミレニアム開発目標」の報告という形で卓話を受けました。フィリップアラジオさんはブラジルの出身で5カ国語を話されるとのこと、日本での生活は3年。卓話はもちろん堪能な日本語で友人のバレーリアさん（ロシア出身の美人）との連携で、パワーポイントを使って判りやすく説明していただきました。フィリップアラジオさんは、卒業後は世界銀行に就いて世界に貢献したいとのこと。国連で活動していた人の言葉を重く感じてしまいました。



この卓話で感銘を受けたことは、私がこの「ミレニアム開発目標MDGs」について殆どいや全く知らなかったこと。そして8つの目標（下記参照）を2015年までに達成しようというものであるが、その殆どが達成できる見込みであること。さらに世界的に見てこれだけの地球規模の集团的取り組みが行われたことは初めてで、MDGsを採択したのは開発途上国の政府や国際社会にとどまらず先進国途上国双方の市民社会も含まれていることです。私たちワイズメンのボランティア活動はどう関係するのと思うのは私だけではないでしょう。あなたはどのように思いますか。

これだけの説明では「ミレニアム開発目標MDGs」は到底ご理解できないと思います。紙面の都合上これ以上の掲載は担当にご迷惑かけるので、この際ぜひ上記のホームページをご覧になって理解してください。目から鱗が落ちますよ。きっと。

※ 参考「ミレニアム開発目標MDGs 8つの目標」：①極度の貧困と飢餓の撲滅、②普遍的な初等教育の達成、③ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上、④幼児死亡率の引き下げ、⑤妊産婦の健康状態の改善、⑥HIV/エイズ、マラリアその他の疾病の蔓延防止、⑦環境の持続可能性の確保、⑧開発のためのグローバルパートナーシップの構築

荒川



第二例会報告

日 時：2009年3月19日（木）19:00～
場 所：名古屋 YMCA
出 席：坂口、松原、三井、坂倉、徳田、荒川、高田

1. ロースターの住所、役員等の確認をして、5月11日までに西日本区に送ること
2. 3月21日（土）チャリティーステージ、ヘルプの皆さん 12:45 集合のこと
部評議員は 13:30 集合のこと
坂口、三井、服部、下村
メネット会は チャリティーステージ修了後 18:00 より 茶話会を行います

3. 4月11日（土）第一例会 潮干狩り
場所：河和北方・・・とつかヨットスクールの横の浜
時間 10:30 集合のこと
家族、こども、知合い、誘い合って多くのご参加期待
詳細は坂口より後ほど連絡します
4. 今後の予定
4月24日（金）第2例会
4月29日（水）根ノ上祭り
後ほど会長より連絡あります
5. ブリテン原稿依頼
3月第一例会：荒川、チャリティーステージ：下村、3月第二例会：松原、フィリピンピースキャンプ：松原、徳田、YMCAたより：徳田

以上

チャリティーステージ



大阪からの北村さん親子とピエールと記念撮影

中部初の企画

「チャリティーステージ」を終えて

去る3月21日に開催されたチャリティーステージ。まずは実行委員会が結成され、いろいろなことを話し合い、考えました。初めての試みでしたので、手探り状態です。

「チケット代はいくらにしようか。」
「チラシはどのようなデザインにしようか。」
「開演は何時からにしようか。」
開演時間やチケット代など決まったところで早速チラシを印刷し、チケットも出来ました。
「チケット売れるかな？」
「チケット購入してくれた人たちはちゃんと来てくれるかな？」
「会場がガラガラになったらどうしよう・・・」

チケットが出来てから当日までは毎日このようなことを心配してばかりでした。
そしていざ当日。
開演前の客席を見渡すと、結構な人数で埋め尽くされているではないですか！
「よかった！」
まずはひと安心です。
あとは、お越しいただいた方にステージを楽しんでもらえれば言うことはありません。



今回私は舞台袖で影アナをしながら舞台を眺めていました。紙風船の人形劇は客席には見えないうところで何人もの人たちが一緒に演じていて、力を合わせてひとつの演劇を作り上げている姿に感動しました。特別に細工された人形もよく見えました。クライマックスのしゃぼん玉のシーン、客席から見たらきっときれいだったんだろうな・・・



後半はがらっと雰囲気が変わり、ムッシュ・ピエールさんのマジックショーでした。子どもたちがピエールさんのそばに詰め寄って来た様子が舞台裏から良く見えました。その笑顔が本当にかわいくてかわいくて。楽しんでくれてるんだな、大変だったけど頑張って準備した甲斐があったなあ、と嬉しくなりました。



いろいろ心配したステージでしたが、無事終了。ほっとしたせいか、気が抜けてしまったようです。

おかげでその後の飲みの席では早々にダウン。みなさま、ご迷惑をお掛けいたしました。

今回このイベントを通して、グランパスクラブメンバーのあたたかい思いやりの心を感じました。ご多忙の中、多くのメンバーのみなさんがお集まりいただき、感謝感謝です。みなさん、ご協力ありがとうございました。楽しんでいただけましたでしょうか？

下村 明子



受付準備のグランパスメネット



舞台準備も行いました



出演者と一緒に記念撮影



同日開催のメネット会のメンバー

YMCAコーナー

フィリピン・ピースキャンプ報告

3月10日より16日まで、松原ワイズと伴に6名のユースを引率して、フィリピン・ツゲガラオ州に行ってきました。受け入れ先のカガヤンバレーYMCA ドミー総主事は名古屋YMCAで研修を受けられたこともあり、その分あたたかく私たちを受け入れてくださいました。現地の婦女子が修養されている福祉施設や、YMCA がサポートをしている低所得者層地域の小学校その他高校や大学を訪れて交流を行いました。大学では地元の学生による民族舞踊を見せてもらいました。いままでは、考えてもみなかったフィリピンの豊かな文化を感じさせられました。また、第2次世界大戦の兵士から、戦争体験を聞くことができました。彼は一時期、日本の軍部で教育を受けたこともあり、日本語であいさつを強要される等、大変厳しい内容であったそうです。

今回参加した6名のユースが、フィリピンの子供～大学生とのふれ合いや、まだまだ一部ではありますが風土にふれたことで、何かを感じ、今

後何かを追求していってくれることを望みます。キャンプ中、毎晩評価の時を持ちましたが、松原ワイズも自分の言葉で、懸命にユースに語りかけてくださり、ユースから信頼を寄せられる存在でした。

キャンプの終わりにユースから手作りの感謝状をドミー総主事にお渡した時、ドミーさんの目も潤んでおり、感動的なわかれとなりました。

なお、ドミー総主事はタスポニー大会出席のため、今年9月に来名の予定です。

(徳田)



フィリピン・ピースキャンプに参加して



3月9日～16日の期間でフィリピンのトゥゲガラオ(カガヤン州、ルソン島東北部、マニラから480km)において、福祉施設(孤児院)、および現地の学校(小学校、高校、大学)を訪問し、交流と相互文化紹介をし、また平和の問題について考えることを目的としたキャンプに参加しました。

参加メンバーは8名で、6名の大学生(坂倉大

輝君と深谷愛ちゃんを含む)と徳田リーダー、そして私でした。



マニラ空港で早速カガヤンバレーYMCAの総主事ドミーさんの温かい出迎えを受け、私たちのキャンプが始まりました。この日(3/10)から何処に行っても大歓迎され、フィリピンの人々の心の豊かさ、フレンドリーさ、人を思いやる心、といったものを再び強く感じるかたが出来ました。

と同時に日本の学生たちもそれぞれの特技、個性を発揮して、事前準備が少ないにもかかわらず、そしてふれ合う時間も短いものでしたが、文化紹介(歌・折り紙・習字・ゲーム)や交流を一生懸命にしてくれました。またフィリピンの子供たちのダンスや伝統的な踊り、ギター演奏などとても多くの文化紹介があり、共に楽しい時を共有できたと思います。



それとまた、マニラではスペイン統治時代から独立への過程を実際に見学したり、日本軍の支配を直に受けたトゥゲガラオにおいて、大戦を経験された方のお話を聞くことが出来、辛い過去の歴史学習を通してあらためて平和について学習することが出来ました。

今回のキャンプでは現地の文化を知る機会として、地元の結婚式(手作りの会場、土間、村民

&市長も参加)にも出席させて頂きましたし、車でマニラまで帰る途中、当初予定には無かったバナウェのライステラス(世界遺産)の見学もさせて頂き、フィリピンの自然もたっぷり満喫することが出来ました。

キャンプ中毎晩のミーティングではそれぞれが一日を振り返り、話し合い、実体験を通して何らかの“気づき”を得たのではないかと思います。私自身国際協力を考えるに当たり、現在のフィリピンの社会情勢や経済状況を実際に見たり聞いたり出来たことは、フィリピンの人々の人間性の再発見と共に今後活かせる収穫であったと思います。

カガヤンバレーYMCAのドミーさんはじめワイズメンの方々には最後まで大変お世話になり感謝しております。今回のこの交流を通して日本の学生とフィリピン子どもたちがともにたくましく成長してくれることを願っております。

松原 誠



そ の 他 (2)

1. 今月の誕生日

happy birthday

荒川 恒子 (24日)

早川 政人 (27日)

congratulation!

2. 西日本区強調月間

4月強調月間 YMCAサービス、ASF

YMCAの新事業年度にあたり、ワイズとYMCAの連携を図りYMCA会員の増強を図ろう

濱田 善秀 Yサ・ユース事業主任